

救急要請マニュアル



一般的にはこんなことを聞かれます。イメージしてみましょう。

**1 「119」とダイヤルして
電話をかける**

スマホからでもOK。固定電話からかけると市外局番から大体の場所がわかるのでさらにスムーズです。

**2 まずは落ち着いて
ゆっくり話すことを意識しまし
う。必要なことは、電話口で聞いて
くれます。**

3 救急であることを伝える

火事ですか？
救急ですか？
救急です

4 来てほしい場所（住所）を伝える

図書館の前です

わからないときは近くの大きな建物や交差点の名前などを伝えましょう。スマホの地図アプリを開いて現在地を長押しすると、座標（現在地を示す番号）や建物名などを確認できます。

**5 具合が悪い人の
年齢を伝える**

70才くらいの女性です

大体の年齢（何才くらいに見える）を伝えるので大丈夫です。

**6 自分の名前と
連絡先を伝える**

救急車が迷ってしまったときなどに電話がかかってくる可能性があります。

**AEDを持ってきて！
と言われたら
外でAEDを
上手に探す方法**

♥「日本全国AEDマップ」とスマホで検索
WEBの地図上でAEDの場所を探することができる
サイトがいくつかあります。
日本全国AEDマップ

♥人が集まる場所などを探す
市役所や公民館、病院、大きな駅などにはよく設置されています。
デパートやコンビニエンスストアなどにも増えてきています。

「救急車を呼ぶべき？」迷ったときは…

「具合が悪いけど、救急車を呼ぶほどなのかな？」

そんなときに覚えておきたいのが#7119です。

●意識がない・呼吸がおかしい・激しい胸の痛み・大量出血 など

今すぐ助けが必要！

→ 迷わず119番！

●「受診したほうがいい？」「救急車を呼ぶべき？」判断に迷う…

→ #7119（救急安心センターおおさか）へ

看護師などが相談に応じ、必要な対応を案内してくれます。

覚えておこう！ 緊急は 119 「どうしたらいい？」は #7119

本校のAEDの場所は



さが探してみてくださいね！